

## プレゼンテーション法 (2 単位)

担当者氏名 全専攻教員

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本科目では、各専修関連学協会等での口頭発表におけるプレゼンテーションの準備から発表までの一連のプロセスを通じ、発表時に必要なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力など、技術者として習得すべき能力の涵養を学習・教育による到達目標としている。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用工学      農村環境工学      広域環境情報学      地水環境工学  
社会基盤工学      水利施設工学      バイオロボティクス      農産加工流通工学

### ◆授業の進行等について

|   | テーマ                                | 内容                                   | 準備学習(予習復習)等の内容と分量                             |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1 | 発表テーマの選定 (第 1～第 2 週)               | 修士論文の研究方向に即したプレゼンテーション題目の選定          | 予習として、学部時代に経験したプレゼンテーションにおける反省点をリストアップしておくこと。 |
| 2 | 調査・実験結果の整理 (第 3～第 8 週)             | 研究題目に従ったフィールド調査および実験結果の取りまとめ         |   |
| 3 | プレゼンテーションマテリアルの作成・発表 (第 9～第 12 週)  | 規定に基づいたプレゼンテーションマテリアルの作成および学会大会等での発表 |   |
| 4 | 発表時の質疑応答のまとめ及び今後の課題の検討 (第 13～15 週) | 発表の質疑応答結果の取りまとめおよび研究を進める上での課題の抽出     |   |

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

プレゼンテーションマテリアルの作製状況、プレゼンテーション内容および質疑応答の結果をもって評価する。

### ◆オフィスアワー

授業終了後 1 時間、研究室で質問等を受け付ける。

### ◆その他受講上の注意事項

本科目は、定期的に関講するよりも集中的に行うことで学習効果が向上するものである。また、本科目は口頭発表を前提としているため、履修にあたっては指導教員と十分に相談し、授業計画を決定すること。